

## 未来に繋がる自分へ繋げる



● 長い夏休み、どう過ごす？	2・3
● 新任教員自己紹介	4・5
● 交換留学生の声	6
● 平成25年度決算・平成26年度予算について	8・9
● KOMAZAWA NEWS	11
● 活躍する卒業生 「パティスリー ヤマムロ」オーナーシェフ 山室正範さん	16



# 長い夏休み、

## ココがポイント就職活動

ご存知でしょうか。就職活動における企業の採用スケジュールは、2016年3月卒業予定者（現在学部3年および修士1年）から大きく変更されます。これにより採用広報活動は、3ヵ月後ろ倒しの2015年3月1日以降、面接など選考活動は4ヵ月後ろ倒しの2015年8月1日以降に行われることになります【右図参照】。

ただし、この変更に伴うポイントは2つあります。1点目は「対象は全てではなく業界や企業ごとに異なる」ということです。したがって実際のスケジュールは、志望企業の採用情報を確認する必要があります。2点目は「インターンシップの位置づけ」です。6月1日にオープンした「リクナビ2016」に掲載されているインターンシップ募集企業数は2,697社。昨年同時期の2倍強であり、その重要性が伺えます。学部3年生および修士1年生は、普段のアルバイトと違う視点からの職業観や企業との関わりから学ぶ仕事観を磨くため、一つでも多く体験されることをお勧めします。また、学部1・2年生は、この夏休みを機に自身の「興味」「能

	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	会社説明会などが解禁				面接など選考が解禁					正式内定		
2015 年卒	12月1日				4月1日					10月1日		
2016 年卒から(新ルール)					3ヶ月繰り下げ 3月1日							

（経団連の「採用選考に関する指針」より）

力」「価値観」を広げられるような経験をしましょう。それは新たな挑戦のみならず、現在取り組んでいるものに明確な目標を掲げることも含まれます。部活・サークル・アルバイト等の『経験からの学び』が就職活動では大切になります。

そして、就職活動を行っている4年生と修士2年生の皆さん、企業の採用活動は現在も活発です。本学には、先月（6/1～30）だけでも約1,000社の新着求人情報がありました。キャリアナビを活用するとともに就職活動の進め方に不安がある場合は、キャリアセンターへお越しください。

せたがやeカレッジ

メニュー

「せたがやeカレッジ」の講座を受けてみよう!!  
インターネットからどこでもすぐに受講できます  
(一部講座を除きます)。運営に参加している各  
大学や世田谷区が、魅力的な講座を多数配信してい  
ます。

HOT NEWS

ピックアップされたお知らせはありません。

お知らせ一覧を見る

講座のカテゴリー

教養・文化  
英語・IT  
社会・環境  
ビジネス  
食・生活  
子育て

「魅惑の仏教美術の世界」  
～知れば知るほど仏像が見たくなる講座～  
第1回 仏像の種類と鑑別方法  
駒澤大学 村松哲文 准教授

1 / 11  
00:00:14 / 00:28:15  
Index

せたがやeカレッジ  
にスマホでアクセス!!  
スマホを使っていつでもどこでも気軽に受講できます。

## e-learning で自宅学習 「せたがやeカレッジ」

### ◆せたがやeカレッジ

平成16年度より開講しているe-learningによる生涯学習サイト。世田谷区教育委員会と国士舘大学、昭和女子大学、東京農業大学、駒澤大学の世田谷区にある4大学が共同で運営。

「せたがやeカレッジ」は、インターネットが使える環境であればだれでも受講ができるe-learningによる生涯学習サイトです。登録料（一部有料コンテンツあり）や登録手続きは不要。昨年度までは、PCでの受講が可能でしたが、4月よりスマートフォンおよびタブレット型端末に対応した配信を開始。電車等の移動中でも受講可能となりました。

コンテンツは、教養・文化・芸術・社会・環境・ビジネスといった様々なジャンルが設定されており、各大学教員等それぞれのテーマの専門家が担当。

2014年6月現在、63講座を開講しています。

## 一松 語

ハプニングは突然起きる。岡倉天心は日本の美術界を切り拓いた第一人者であるが、大学では政治経済を専攻し、卒業論文は「国家論」を書き上げていた。ところが夫婦喧嘩に端を発して妻に卒論を破かれてしまう。締切りまで数日、悩んだ末に古美術調査を手伝った経験から「美術論」を書き上げた◆文部省に就職した天心は卒論がきっかけで美術行政を担当。天心に古美術の魅力を伝授したのは、日本で文化財行政を指導し

たアメリカ人のフェノロサだった◆そのフェノロサは同郷のモースの勧めで来日していた。モースは横浜から新橋に向かう汽車の車窓から偶然に大森貝塚を発見したことで有名である◆幸運の女神の前髪をつかめ——とはチャンス逃すなという解釈になるが、私の場合、いつも闇雲にチャンスをつかもうとするので、それが女神の前髪でないというオチも多々ある。大切なのは物事の見方を変えることだ。女神の前髪ではなかったように見えても、それも縁あってのこと、自分にとって価値

があると思うことは、人生を肯定していく上で重要である◆水墨画に禅機図という分野がある。禅僧が悟りを得た瞬間を描いたもので、それは日常の何気ない瞬間、例えば川を渡る時、庭を掃く時、竹を割った時に訪れる。物事への見方を変えるところに転機は潜んでいる。天心の夫婦喧嘩はご本人にとっては大変なことであつたろうが、はたから見れば些細な日常の風景である。しかしその喧嘩がひいては日本の美術界を大きく変えたのである。大変とは大きく変わると書く。



# どう過ごす？

## 自宅や旅先からでも利用できる図書館で情報発見を！

本学図書館は夏休み中、図書の長期貸出を実施しますが、夏休み中にレポートを書くと思って前もって本を借りていても、それだけでは資料が足りないことがあるかもしれませんね。また、急に旅先などで調べ物をしたくなるなんてこともあるかもしれません。そんなとき、皆さんならどうしますか？

改めて図書館へ足を運んだり、インターネットで検索をしたりするかもしれませんが、図書館ではデータベースの利用をオススメしています。データベースを利用すれば、レポートを書く際の参考文献としても申し分ありません。これらのデータベースは、学外からもVirtual KOMAnetに接続して利用できるものが多いので、是非自宅などからもご活用くださ



い。

そもそもデータベースってどんなものがあるの？と思っている方は、まず本学図書館のホームページへアクセスしましょう。「データベース」ページから利用可能です。

また、今年の4月より、まとめ検索ツール「Kompass Discovery Service」の利用を開始しています。図書館で契約している電子ブック・電子ジャーナルを、Googleのように

検索することができます。「Kompass Discovery Service」を使って、新たな情報を発見してみましょう！

もちろん、夏休み中も全学休業期間を除き開館していますので、多くの皆さんの来館利用もお待ちしております。

## 皆さんが利用できる厚生施設

学生・教職員の厚生施設として、「富浦セミナーハウス」と「野尻寮」があります。



富浦セミナーハウス

気候温暖・風光明媚な千葉県南房総国定公園大房岬の付け根、眼下に富浦湾を望む丘の中腹という環境に恵まれた地にあります。部屋は大小23室あり、和室2室を含むセミナー室7室、卓球台のある娯楽室、テニスコートを完備しています。



野尻寮

長野県上水内郡信濃町にあり、多くの観光客が訪れる野尻湖畔まで150メートルの、閑静で優れた立地にあります。部屋は大小19室あり、食堂や会議室もあります。

また、黒姫高原や妙高高原などの観光地も近く、自転車のレンタルも行っています。

各施設とも鉄筋コンクリート3階建、100人の収容が可能です。予約（先着順・電話申込不可）は3ヵ月前の同日から受付開始で、利用開始日の7日前（「野尻寮」は10日前）までに利用申込書に必要事項を記入し、学生部②番窓口へ提出します。学生部で確認後、利用料金を財務部窓口で納入してください。これらの厚生施設は、ゼミやサークル合宿、またグループ

旅行、同窓生などに利用されています。友人や家族と旅行をする際にも宿泊が可能ですので、是非ご利用ください。

詳細は、大学ホームページまたは学生部②番窓口で確認してください。

※ 同窓生の利用については、教育振興部事務室へお問い合わせください。



# 新任教員 自己紹介



## 想像力を養う

文学部 講師 倉田 容子

国文学科に着任しました倉田容子と申します。日本近現代文学を専門とし、ジェンダーやセクシュアリティ、エイジング、地域性といった問題に関心を持っています。大学院在学中は老女表象を研究テーマとしていましたが、現在は人間の生を形作る諸条件についてより根源的に検討したいと思い、死や死別をめぐる語りについて考察しています。

講義やゼミでは、文学を批評的に読む訓練を通じて、漠然と受け入れてきた「常識」を疑い、問題を多面的に捉える思考力と他者への想像力を養ってもらいたいと思っています。よろしくお願いいたします。



## 楽しみつつ文学を学ぶ

文学部 講師 川崎 浩太郎

専門分野は19世紀のアメリカ文学ですが、この時代に形成されたアメリカの神話が、20世紀以降の表象文化とどのように関わっているかにも興味を持っています。グローバル化が加速する現代、社会で即戦力となる実務的な学習が必要なことは言うまでもありませんが、一見社会では役に立たないと思われがちな文学の精読によって培われる想像力も、文化的他者を理解する上では、決して疎かにされてはならない能力であると考えています。単に文学を教養として教えるだけでなく、学生が興味を持ち、楽しめるような方法で指導していく所存です。



## 考古学のすすめ

文学部 講師 角道 亮介

外国考古学を担当する角道です。専門は中国考古学、特に中国古代の青銅器について研究をしています。世界各地には様々な考古学的な文化があり、その性格も多種多様ですが、考古学の基本が「遺跡と遺物から歴史を読み解く」ことであることは、どの国・どの地域であっても変わることがありません。学生の皆さんには、まだ見ぬ遺跡や遺物を自分の目で見て体感してみたい、という純粋な好奇心を、何より重要な道しるべとして磨いてほしいと思います。講義や演習を通じてそのような知的好奇心を満たすお手伝いができれば、と思っています。



## アットホームなキャンパス

経済学部 講師 明石 英人

4月から経済学部でお世話になっております。社会経済学と経済理論Aの授業を担当させていただいていますが、その準備に追われる毎日です。まじめに取り組んでくださる学生さんが多いので、ほどよい緊張感があります。ゼミは、果たして人が集まるんだろうかと不安でしたが、無事に1・2期生を迎え、貧困問題やブラック企業問題関連の文献を少しずつ輪読しています。キャンパスの雰囲気や穏やかで心地よいです。これからいろいろな場面で皆さまにお目にかかることを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。



## ともに経済学を学びましょう

経済学部 講師 西村 健

本年度より経済学部に着任しました西村健と申します。私は大学を卒業後、民間企業でシステムエンジニアの仕事をしておりました。その後、研究者の道を目指すために退職を決め、大学院で経済理論を体系的に学び、今年の3月に博士号を取得することができました。専門は「オークション理論」です。公共工事や国債、最近では携帯電話の電波周波数帯など、様々なモノがオークションを通じて売買されています。そのような実際の場面で理論がどのように活用されているか、ともに学んでいきましょう。今後ともよろしくお願いいたします。



## 犯罪と刑罰について一緒に考えましょう

法学部 教授 原口 伸夫

こんにちは。刑法を担当する原口です。刑法が扱っている犯罪や刑罰の問題は、決してわれわれの日々の生活とはかわりがないところで生じている問題ではありません。そのことは、「罪と罰」というテーマが、人間性にかかわる問題として、ときに文学作品において取り上げられてきたことからもうかがわれるでしょう。そこで、現在の社会と犯罪のかかわり、刑罰法規が現在の諸問題の解決に有効に機能しているのか、等々を意識しながら、刑事法にかかわるさまざまな問題を考えていきたいと思います。社会の中の出来事（その一つとして犯罪）に関心をもって、一緒に勉強していきましょう。





## 「社会」と「情報」の接点に挑戦する

グローバル・メディア・スタディーズ学部 准教授 服部 哲

専門は「社会情報学」です。「社会情報学」は「社会」と「情報学」をつなぐ学問領域です。そのなかで私は「情報科学」や「コンピュータ・サイエンス」の立場から、インターネットや携帯電話、タブレット・パソコンなどといった新しいメディアを地域や福祉、防災・防犯などへ実践することによって、それらの可能性や課題を明らかにすることに取り組んでいます。講義やゼミでは、具体的な事例を数多く紹介しながら、新しいメディアのあり方を、学生の皆さんとつよに探究していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



## 駒澤大学に着任して

グローバル・メディア・スタディーズ学部 講師 ウルフ、ジェームズ P.

本年4月に着任しました。出身は米国オハイオ州。大自然の中で育った私にとって緑の多い駒沢公園に隣接した本キャンパスは大変心地良く、東京にいることを忘れさせてくれます。来日をきっかけに興味を持った英語教育が現在の私の研究分野である English Oral Communication に大きく影響を及ぼしております。英語を母国語としない人がそれを学ぶとき、あらゆる可能性を最大限に活用し、最も効率よく習得できる方法は何かを見つけ出せるよう、学生の皆さんとともに考えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



## グローバル化の中で共に学ぶことを期待して

グローバル・メディア・スタディーズ学部 助手 槌屋 洋亮

昨年10月より、グローバル・メディア・スタディーズ学部の助手に着任しました。槌屋洋亮です。GMS学部では主に情報機器関連のサポートなどを担当しています。専門はフィールドワークにおける情報メディアの活用で、海外のある地域に赴き、その地域の文化や社会を学ぶ際に情報メディアがどう使えるかということに関心があります。私自身もベトナムという国でフィールドワークを続けていますが、社会がグローバル化する中でGMS学部の学生さんの「学び」を支援できるように努め、また私自身も皆さんから多くを学ぶことを期待しています。



## 新しい世界の開拓を！

総合教育研究部 准教授 中村 哲子

一人ひとりの顔が違いうように、一人ひとりが自分らしい道を自由に切り拓くのが大学というスペースだと思っています。学生や教職員の皆さんとそのスペースでともに時を過ごしながらか、他者を敬い、個を高めていきたいと考えています。英語と英語で書かれた文学を研究対象としていますが、英語を媒体にして触れることができる世界の広がりや奥深さ、そしてその魅力を多くの皆さんとわかち合いたいと願っています。知らないことを知る喜び、そして新しい世界に一步踏み出すときの高揚感が共有できる教育・研究を目指しています。



## 寒くて熱いロシアを追って

総合教育研究部 講師 三好 俊介

ロシア語を主に担当します。専門はロシア文学（19～20世紀の詩が中心）です。これまで文学研究、日本総領事館での外交実務、大学教育、社会人教育など、ロシア語に関わる様々な仕事をしてまいりました。伝統ある駒澤大学で、じっくりと対象について考えることができればと思います。文学に限らず、ロシア語圏の話題には全て興味があるのですが、その興味の原動力になっているのは、午前1時の白夜の太陽や、見渡す限りの樹氷の群れを前にしたときの驚きであったりします。学生の皆さんにはそうした経験も熱く伝えたいと思っています。



## 明日を見つめて今をひたすらに

総合教育研究部 講師 瀧本 誠

総合教育研究部スポーツ健康科学部門に着任しました瀧本誠です。縁がありまして中学生のときに世田谷・駒沢に上京して以来、ずっと世田谷区に居住しています。子どもの頃からスポーツを続け「将来は指導者に」と思い一昨年大学院に進学、修士課程を修了しました。スポーツを頑張ってきた経験や培ってきたことを学生諸君に伝えることができたと考えております。好きな言葉で「明日を見つめて今をひたすらに」という言葉があります。学生諸君には未来の自分のために、短い学生生活を充実した時間にして欲しいと思っています。よろしくお願いいたします。



## 貴重な出会いを大切に

総合教育研究部 助教 黒住 早紀子

専門は発達臨床心理学です。皆さんとは教職課程の講義でお会いすることになります。私は、大学生の時に障害のあるお子さんと出会ったことをきっかけに、人が人を知り関係が築かれていく過程に興味を持ちました。そして、臨床発達心理士として小・中学校や福祉の現場等に携わりながら、これまで研究を続けてきました。大学は、自分の興味や好奇心を刺激してくれる出会いに溢れている場だと思います。皆さんの貴重な大学生活に関わらせていただけることを嬉しく思い、共に学び一緒に考え、刺激となる機会を作っていけたらと考えています。



# 石巻復興イベント「学食×石巻」

経営学部市場戦略学科3年 菅野 奈々



ポスター

4月23日・24日の2日間にわたり、経営学部の青木ゼミ・藤原ゼミの合同企画として、学食で宮城県石巻市のグルメを提供するイベントを開催しました。前売り販売で石巻の食材を使った限定200食のメニュー「ねかばか定食」（ねかばか＝東北の方言で「ねばねば」を意味する）は無事完売し、当日は学食で生産者の方を紹介するVTRを放映し、石巻の現状を伝える展示もしました。このイベントを通して、震災から3年経過した石巻の「今」を知ってもらい、生産者と消費者を繋げ、現地に赴いてもらうきっかけを作ることを目指しました。それが私たち「まきまきプロジェクト」、通称「まきプロ」の活動です。

私たちは実際に石巻へフィールドワークに行き、震災という苦境を乗り越えて

完売した「ねかばか定食」



完売した「ねかばか定食」

こだわりを貫いている生産者、米農家の太田さん、漁師の木村さん、柳橋さんとお会いしました。いろんな人に訪れてもらい、現状を知ってほしいという思いを幾度となく耳にしました。また、漁業関係者の方々は「ボランティアにも来てほしい」とも仰っていました。しかし特に人手が必要というわけではありません。彼らはこう話します。「訪れてくれる学生や若者と、会話をしたり食事を共にすることで、家族が増えたようで嬉しいから、是非来てほしいんだ」と。当時の苦難のエピソードを聞いているうちに、この方々が手掛ける食材を是非とも多くの人々に食べてもらい現状を伝えたいと感じるようになり、学生ならではの視点でできることはないかと考えました。

今回のイベントを契機に、多くの人々に活動を認知してもらい、少しでも被災地を考え、想い、繋げる活動を、今後も駒澤大学から率先して発信していきたいと思っています。



前売り券販売ブース

## 交換留学生の横顔



- ① 華東師範大学(中国) 国文学科 季 夢怡
- ② 華東師範大学(中国) 国文学科 蘇 子吟
- ③ 淡江大学(台湾) 国文学科 羅 寧
- ④ 東国大学校(韓国) 国文学科 우 이정
- ⑤ エクス・マルセイユ大学(フランス) 国文学科 Ferrero Coralie
- ⑥ アーカンソー工芸大学(アメリカ) 歴史学科 Nicholson Zach
- ⑦ クィーンズランド大学(オーストラリア) グローバル・メディア学科 Bakker Timothy
- ⑧ 淡江大学(台湾) 歴史学科 林 韋翔
- ⑨ アーカンソー工芸大学(アメリカ) グローバル・メディア学科 Counts Shelly
- ⑩ エクス・マルセイユ大学(フランス) 仏教学科 Garbi Mikael

## 交換留学生の声

Bakker Timothy (バックカー・ティモシー)  
グローバル・メディア・スタディーズ学部 交換留学生  
オーストラリア・クィーンズランド大学所属



I have two main reasons for coming to Japan on exchange. The first is simply to improve my Japanese ability. I enjoyed studying Japanese at both high school and university, and my progress was going smoothly. However, after participating in 'Komstudy' at Komazawa University, I realized if I wanted to be able to speak Japanese fluently I would have to live here for a reasonable period of time. Being in Japan has not only allowed me to practice Japanese all the time with native speakers, but in most cases has forced me to. It has also made it a lot easier to make and spend time with Japanese friends. This in itself has been a lot of fun, and has made exploring Japan a lot easier and more enjoyable, but it also has been a great chance to practice Japanese in a more casual setting.

The other main reason is that spending a year to live in Japan allows me to experience Japan properly. Not just as a short term visitor or tourist. Although it has only been a couple of months since I arrived, I have already been slowly growing more and more accustomed to the Japanese lifestyle and culture. This also includes discovering and experiencing Japan's cultural differences firsthand, which I think is an important part of understanding any foreign country.

I look forward to the rest of my time here at Komazawa University, as I'm sure I'll get the opportunity to greatly improve my Japanese, as well as a proper experience of Japan and Japanese culture.





「みんなで青春しませんか？」  
今回は、この言葉にぴったりの  
サークルを紹介します。アカペ

ラサークル「鳴声刺心（めいせいししん）」は今年で設立5年目を迎える大学公認サークルです。サークル員の人数は120人ほど。サークル内で4人から6人のバンドを組んで活動しています。バンド練習以外には週に2回、全体会があります。

鳴声刺心のモットーは「楽しく」。「全体会は歌を歌いに来るのはもちろん、メンバーに会うために集まる、という面もある」と代表の河野さん。この意識が、楽しく和気あいあいとした雰囲気に繋がっているそうです。

大きなイベントは、毎年夏と冬に行うライブ。そこで日頃の練習の成果を披露します。特に夏ライブは1年間の集大成を見せる大きな舞台。この日にサークルの代表も交代し、節目となる大事な一日です。

アカペラといえば、重なり合うハーモニーが魅力的な反面、無伴奏ということもあり難しそうなイメージも。しかし、経験者は全体の約一割ほどで、ほとんどが初心者です。先輩や外部の団体からのノウハウ、そして仲のいいメンバーが、初心者でも楽しめる秘訣かもしれません。

今年は鳴声刺心にとって飛躍の年。公認サークルに昇格し、多くの学内のイベントに参加。「声だけでこんなにできるんだ、と知ってもらえるのが嬉しい」と河野さん。「童謡から演歌まで、幅広いジャンルを楽しめるのもアカペラの良さ。親しみやすい音楽だからこそ、たくさんの人に愛される団体でありたい」。大学生活の青春がここにあります。あなたもアカペラにはまってみませんか？  
(学生記者 駒大スポーツ所属 文学部英米文学科3年 高橋 春子)



## MySeminar 私のゼミ vol.133

経済学部経済学科2年  
坂本 恵里

経済学部 江口允崇ゼミ

私たち江口ゼミは、現在4年生20人、3年生16人、2年生30人の計66人が所属しています。

現在、日本の経済政策の動向は安倍晋三首相によるアベノミクスにより、世界的に注目が集まっています。実際の政策により、株価上昇や円安ドル高など景気も徐々に回復していましたが、消費税が8%に引き上げられたことで消費が冷え込み、再び後退傾向にあります。また日本のみならず、欧米など諸外国においても、景気後退や債務危機という問題に直面しており、財政再建を行うのか、さらなる



景気対策を行うのか財政運営の難しいかじ取りを迫られています。今後日本及び世界経済においてどのような財政運営が望ま

しいのかを考えることが、ゼミの主な目的となっています。

私たちは今年度、アベノミクスによって行われている経済政策はどのようなものであるか正しく理解するというのをテーマとしました。そこで2年生は、まずは経済学の基礎であるマクロ経済学を中心に勉強し、学問として経済を捉えられるようになることと、基礎をしっかりと定着させ、年度末にマクロ経済学のテキストを出版するというのを目標としました。3年生は、グループでテーマを決めデータをそれぞれが集め、それを分析し論文にし、論文コンテストへの参加を目標に、ゼミとして週に2限のゼミとサブゼミの時間を使って学習を行っています。また私たち江口ゼミでは、個人の理解を深めるだけではなく、パワーポイントやグループでの学習やエクセルを使った統計分析等を行っているため、個人のスキルも磨くことができます。一人ひとりの個性を生かした参加型のゼミとなっており、ゼミ生同士だけでなく江口先生とも仲が良く、和やかな雰囲気の中で学習、研究を行っています。

## 教育後援会主催 スプリングフェスティバル開催！

5月17日（土）駒沢キャンパス記念講堂にて、駒澤大学スプリングフェスティバルを開催し、700人を超える方にご来場いただきました。この企画は文化系のサークルにもスポットを当てたいという声から昨年よりスタートし、運営は駒澤大学企画研究会に依頼しました。

昨年度より参加団体も増え、ステージ企画6団体・展示企画5団体が日頃の成果を発表。最後に、参加団体全員がステージに登場し肩を組み、応援指導部ブルーベガサスのリードで校歌を斉唱し閉幕しました。来年度も開催予定ですので、皆さまのご来場をお待ちしております。  
(教育後援会)





# 平成25年度決算について

学校法人駒澤大学の平成25年度決算は、監事および公認会計士の監査を経て、平成26年5月26日の理事会・評議員会において承認されました。

## 【① 資金収支について】

### 【収入の部】

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は239億7,128万円です。主な項目は学生生徒等納付金収入157億6,744万円、入学検定料などの手数料収入10億5,715万円、寄付金収入5億772万円、補助金収入19億5,937万円、授業料・入学金等の前受金収入75億227万円、各種引当特定資産からの繰入等のその他の収入30億7,568万円となりました。

### 【支出の部】

次年度繰越支払資金を除いた当年度支出は239億6,579万円です。主な項目は人件費支出110億1,661万円、教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出44億8,869万円、教育・研究を間接的に支援する管理経費支出8億5,862万円、日本私立学校振興・共済事業団、市中銀行等への借入金等返済支出26億3,218万円、駒澤大学本部棟耐震・内装改修及びエレベーター更新等工事、7号館防火設備・トイレ改修及びエレベーター新設工事、1号館荷物用・第二研究館エレベーター更新工事、駒澤大学高等学校体育館空調設備・照明関連工事等の施設関係支出7億7,296万円、駒澤大学図書館システム、統合バックアップサーバー、AV教場機器等の教育研究等に要する機器備品や図書などの設備関係支出3億8,596万円、各種引当特定資産への繰入等の資産運用支出36億3,900万円となりました。

## 【② 消費収支について】

### 【消費収入の部】

学生生徒等納付金や補助金など負債とならない収入である帰属収入は、217億953万円となりました。

基本金組入額は12億7,324万円となり、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は204億3,629万円となりました。

## 【消費支出の部】

人件費・教育研究経費・資産処分差額等の消費支出は188億2,784万円となりました。このうち18億5,935万円は減価償却額によるものです。

## 【消費収支差額】

消費収入が消費支出を上回った結果16億845万円の消費収入超過となり、累積の翌年度繰越消費支出超過額は288億5,158万円となりました。

## 【③ 貸借対照表について】

### 【資産の部】

平成25年度末の資産総額は857億6,424万円（前年度比9億5,379万円増）となりました。有形固定資産は、駒澤大学本部棟耐震工事や各棟エレベーター新設・更新工事等で増加したものの、減価償却等により7億5,043万円減少しました。その他の固定資産は、減価償却引当特定資産などの特定資産の増加等により13億766万円増加しました。流動資産は私学退職金財団等交付金や国庫補助金等の未収入金の増加等により3億9,655万円増加しました。

### 【負債の部】

負債総額は235億2,304万円（前年度比19億2,790万円減）となりました。そのうち固定負債は退職給与引当金が計上基準変更に伴う組入等により若干増加したものの、長期借入金等の減少により24億1,623万円減少しました。流動負債は未払金や前受金等の増加により4億8,833万円増加しました。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた純資産（正味財産）は622億4,119万円（前年度比28億8,169万円増）となりました。

### 【基本金の部】

基本金総額は910億9,277万円（前年度比12億7,324万円増）となりました。

### 【消費収支差額の部】

本年度、消費収入超過となったことにより、翌年度繰越消費支出超過額は前年度比16億845万円減少し、288億5,158万円となりました。

学校法人 駒澤大学

## 平成25年度 資金収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

### 【収入の部】

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	15,779,084	15,767,449	11,635
手 数 料 収 入	1,000,213	1,057,150	△ 56,937
寄 付 金 収 入	519,550	507,720	11,830
補 助 金 収 入	1,913,553	1,959,374	△ 45,821
資産運用収入	1,005,859	1,216,156	△ 210,297
資産売却収入	40	153	△ 113
事 業 収 入	199,471	200,464	△ 993
雑 収 入	923,622	973,649	△ 50,027
借入金等収入	4,000	1,200	2,800
前受金収入	6,886,462	7,502,274	△ 615,812
その他の収入	2,787,029	3,075,686	△ 288,657
資金収入調整勘定	△ 8,270,841	△ 8,289,991	19,150
前年度繰越支払資金	14,460,024	14,460,024	
収入の部合計	37,208,065	38,431,307	△ 1,223,242

### 【支出の部】

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	11,016,620	11,016,619	1
教育研究経費支出	4,859,563	4,488,691	370,872
管理経費支出	1,005,465	858,629	146,836
借入金等利息支出	217,033	217,031	2
借入金等返済支出	2,632,180	2,632,180	0
施設関係支出	1,234,095	772,966	461,129
設備関係支出	482,056	385,964	96,092
資産運用支出	3,343,122	3,639,001	△ 295,879
その他の支出	457,771	423,833	33,938
〔予備費〕	(11,175)		
	233,325		233,325
資金支出調整勘定	△ 459,788	△ 469,124	9,336
次年度繰越支払資金	12,186,623	14,465,517	△ 2,278,894
支出の部合計	37,208,065	38,431,307	△ 1,223,242

(注)金額は、千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

学校法人 駒澤大学

## 平成25年度 消費収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

### 【消費収入の部】

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	15,779,084	15,767,449	11,635
手 数 料	1,000,213	1,057,150	△ 56,937
寄 付 金	527,011	532,486	△ 5,475
補 助 金	1,913,553	1,959,374	△ 45,821
資産運用収入	1,005,859	1,216,156	△ 210,297
資産売却差額	39	152	△ 113
事 業 収 入	199,471	200,464	△ 993
雑 収 入	924,045	976,301	△ 52,256
帰属収入合計	21,349,275	21,709,532	△ 360,257
基本金組入額合計	△ 1,898,170	△ 1,273,241	△ 624,929
消費収入の部合計	19,451,105	20,436,292	△ 985,187

### 【消費支出の部】

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	11,234,635	11,234,634	1
教育研究経費	6,585,678	6,233,443	352,235
管理経費	1,127,335	980,803	146,532
借入金等利息	217,033	217,031	2
資産処分差額	175,541	160,996	14,545
徴収不能引当繰入額	935	935	0
〔予備費〕	(41,569)		
	202,931		202,931
消費支出の部合計	19,544,088	18,827,841	716,247
当 年 度 消費収入超過額	0	1,608,451	
当 年 度 消費支出超過額	92,983	0	
前 年 度 繰 越 消費支出超過額	30,460,035	30,460,035	
翌 年 度 繰 越 消費支出超過額	30,553,018	28,851,584	

学校法人 駒澤大学

## 貸 借 対 照 表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	69,796,211	固 定 負 債	9,951,989
有形固定資産	52,569,594	長期借入金	5,765,450
土地	17,461,206	退職給与引当金	4,169,812
建物	22,694,206	長期リース未払金	11,971
構築物	2,335,100	長期預り金	4,756
教育研究用機器備品	1,145,899	流動負債	13,571,056
その他の機器備品	48,150	短期借入金	2,631,780
図書	8,766,024	未払金	320,028
車 輜	1	リース未払金	8,738
建設仮勘定	119,009	前受金	7,503,645
その他の固定資産	17,226,616	預り金	3,106,865
電話加入権	10,599	負債の部合計	23,523,045
意匠・商標登録権	5,851		
差入保証金	88,971		
有価証券	400,250		
長期貸付金	23,620		
長期前払金	58,479		
退職給与引当特定資産	3,645,443		
減価償却引当特定資産	2,442,120		
建設準備引当特定資産	1,829,825		
将来計画引当特定資産	1,358,730		
奨学金引当特定資産	2,588		
駒澤大学開校130周年記念棟建設事業資産	5,500,000		
駒澤大学高等学校校地拡張事業資産	800,000		
第3号基本金引当資産	1,051,340		
出 資 金	8,800		
流 動 資 産	15,968,029		
現金預金	14,465,517		
未収入金	1,175,061		
貯 蔵 品	8,794		
短期貸付金	9,040		
有価証券	171,676		
前払金	134,914		
立替金	3,027		
資産の部合計	85,764,240		
		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	85,764,240



# 平成26年度予算について

学校法人駒澤大学の平成26年度予算は、平成26年3月27日の理事会・評議員会において承認されました。

## 【① 資金収支について】

### 【収入の部】

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は223億4,944万円で、前年度繰越支払資金は121億8,662万円（前年度予算比22億7,340万円減）となっています。学生生徒等納付金収入157億3,213万円（4,694万円減）。手数料収入9億5,303万円（4,718万円減）。そのうち入学検定料収入は9億2,931万円計上しています。寄付金収入は駒澤大学開校130周年記念棟建設寄付金、苫小牧高校開校50周年記念に伴う寄付金、曹洞宗宗務庁からの「仏教研修館建設寄付金」、及び教育後援会、同窓会、駒澤会、KUサポート等からの寄付金で3億675万円（2億1,279万円減）。国や地方公共団体からの補助金収入15億5,814万円（3億5,541万円減）。受取利息や施設の貸出使用料等の資産運用収入10億16万円（569万円減）。事業収入1億8,767万円（1,179万円減）。雑収入5億7,957万円（3億4,404万円減）。借入金等収入400万円（増減なし）。翌年度の収入となる前受金収入67億6,123万円（1億2,523万円減）。よって、収入の部合計は345億3,606万円です。

### 【支出の部】

次年度繰越支払資金を除いた当年度支出は227億3,170万円で、次年度繰越支払資金は118億435万円（3億8,226万円減）となっています。人件費支出103億703万円（6億9,840万円減）。教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出49億7,845万円（1億1,889万円増）。教育・研究を間接的に支援する管理経費支出12億7,557万円（2億7,011万円増）。借入金等利息支出1億7,215万円（4,487万円減）。日本私立学校振興・共済事業団等へ返済する

借入金等返済支出26億3,178万円（40万円減）。施設関係支出9億1,390万円（3億2,018万円減）。主な内容は、駒澤大学記念講堂改修工事費、駒澤大学開校130周年記念棟関連支出、駒澤大学玉川キャンパス整備関連工事費です。教育研究に要する機器備品や図書などの設備関係支出2億2,710万円（2億5,495万円減）。主な内容は、実験実習器具費及び教育図書費等です。資産運用支出19億7,700万円（13億6,612万円減）。主な内容は、駒澤大学開校130周年記念棟建設事業資産への繰入支出及び将来計画引当特定資産への繰入支出です。予備費2億3,450万円（1,000万円減）。よって、支出の部合計は345億3,606万円です。

## 【② 消費収支について】

### 【消費収入の部】

学生生徒等納付金や補助金など負債とならない収入である帰属収入は、206億3,820万円（7億1,106万円減）となっています。

基本金組入額は、3億1,480万円（15億8,336万円減）となり、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、203億2,340万円（8億7,230万円増）となっています。

### 【消費支出の部】

人件費・教育研究経費・資産処分差額等の消費支出は192億7,291万円（2億7,117万円減）となっています。このうち17億5,652万円は減価償却額によるものです。

### 【消費収支差額】

消費収入が消費支出を上回った結果10億5,048万円の消費収入超過となり、累積の翌年度繰越消費支出超過額は295億253万円となります。

### 学校法人 駒澤大学 平成26年度 資金収支予算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

#### 【収入の部】

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金収入	15,732,138	15,779,084	△ 46,946
手 数 料 収 入	953,031	1,000,213	△ 47,182
寄 付 金 収 入	306,753	519,550	△ 212,797
補 助 金 収 入	1,558,143	1,913,553	△ 355,410
資 産 運 用 収 入	1,000,161	1,005,859	△ 5,698
資 産 売 却 収 入	0	40	△ 40
事 業 収 入	187,676	199,471	△ 11,795
雑 収 入	579,577	923,622	△ 344,045
借 入 金 等 収 入	4,000	4,000	0
前 受 金 収 入	6,761,230	6,886,462	△ 125,232
そ の 他 の 収 入	2,715,443	2,787,029	△ 71,586
資金収入調整勘定	△ 7,448,708	△ 8,270,841	822,133
前年度繰越支払資金	12,186,623	14,460,024	△ 2,273,401
収入の部合計	34,536,067	37,208,065	△ 2,671,998

#### 【支出の部】

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人 件 費 支 出	10,307,037	11,005,445	△ 698,408
教育研究経費支出	4,978,458	4,859,563	118,895
管理経費支出	1,275,577	1,005,465	270,112
借入金等利息支出	172,158	217,033	△ 44,875
借入金等返済支出	2,631,780	2,632,180	△ 400
施設関係支出	913,906	1,234,095	△ 320,189
設備関係支出	227,103	482,056	△ 254,953
資産運用支出	1,977,001	3,343,122	△ 1,366,121
その他の支出	495,041	457,771	37,270
〔予備費〕	234,500	244,500	△ 10,000
資金支出調整勘定	△ 480,852	△ 459,788	△ 21,064
次年度繰越支払資金	11,804,358	12,186,623	△ 382,265
支出の部合計	34,536,067	37,208,065	△ 2,671,998

(注) 金額は、千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

### 学校法人 駒澤大学 平成26年度 消費収支予算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

#### 【消費収入の部】

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	15,732,138	15,779,084	△ 46,946
手 数 料	953,031	1,000,213	△ 47,182
寄 付 金	310,063	527,011	△ 216,948
補 助 金	1,558,143	1,913,553	△ 355,410
資 産 運 用 収 入	1,000,161	1,005,859	△ 5,698
資 産 売 却 差 額	317,420	39	317,381
事 業 収 入	187,676	199,471	△ 11,795
雑 収 入	579,577	924,045	△ 344,468
帰属収入合計	20,638,209	21,349,275	△ 711,066
基本金組入額合計	△ 314,804	△ 1,898,170	1,583,366
消費収入の部合計	20,323,405	19,451,105	872,300

#### 【消費支出の部】

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人 件 費	10,453,916	11,193,997	△ 740,081
教育研究経費	6,624,455	6,585,678	38,777
管理経費	1,386,258	1,127,335	258,923
借入金等利息	172,158	217,033	△ 44,875
資産処分差額	401,405	175,541	225,864
徴収不能引当金繰入額	226	4	222
〔予備費〕	234,500	244,500	△ 10,000
消費支出の部合計	19,272,918	19,544,088	△ 271,170
当年度消費収入超過額	1,050,487	0	
当年度消費支出超過額	0	92,983	
前年度繰越消費支出超過額	30,553,018	30,460,035	
翌年度繰越消費支出超過額	29,502,531	30,553,018	



## 米国ビジネススクールの現場から

グローバル・メディア・スタディーズ学部  
教授 各務 洋子



バブル景気終焉の90年代初頭、アメリカでMBAを取得した。日本人は一学年に10人以上は在籍し、授業では日本人としての意見を頻繁に求められた。その後20年余りを経て、昨年度一年間、再びアメリカのビジネススクール（経営大学院）で、今度は客員教員としてMBAとExecutive MBAのクラスを担当する機会を得た。空気は大きく様変わりしていた。授業には日本人学生が一人もいなかった。例えば60人のクラスで韓国人、中国人は数人。インド人はクラスの5分の1を占めていた。

人種の坩堝と言われるニューヨークで、キャンパスにはおよそ110を超える国々から学生が集まる。多国籍の学生たちが英語という共通言語で議論する授業は圧巻だ。訛り丸出しの英語でも全く臆せず意見を開き合う姿勢は、学生ながら迫力さえある。時には議論が出身国の文化対抗戦の様相を呈し、グローバル化の本質をクラス全員が肌で感じることになる。しかし、残念なことに、そこには日本人がいなかった。中国、韓国、シンガポール、マレーシア、香港、台湾とアジア人が積極的に発言する中で、日本のプレゼンスはゼロであった。20代後半から30代にかけての2年間、共に徹夜したグループワークで密な交流を続けた仲間たちがいずれ世界で活躍する。10年後20年後にそれぞれの国家を代表する人材となった時、そのネットワークの中に日本人がいなくてもいいという危機感に襲われた。海外の大学院に留学する目的は、高度な学問を身に付けることだけではない。地球市民の一人として国家を超えて共に未来を真剣に語り合う稀有な場ではないだろうか。

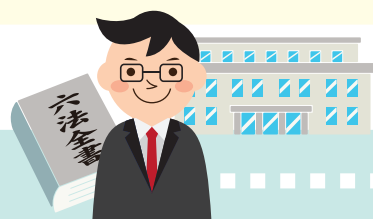
## 法科大学院制度と予備試験

法科大学院 教授 小松 良正



平成16年に始まったわが国の法科大学院制度は、従来の旧司法試験が知識偏重型の試験であったことから、これを見直し、理論と実務の架橋を可能とするアメリカ型のロースクール制度を導入した。そこでは、従来の講義形式の授業とは異なり、ケース・メソッドとソクラテック・メソッドが採用された。前者は、実際に裁判所が言い渡した判例（判決）を素材として、その分析を通して実務家のものの見方や考え方を修得するものである。また、後者は、講義形式に代わり、教員が学生に質問を発しこれに学生が答えるといった問答方式の授業スタイルである。最初は、学生は他の多くの学生の前で緊張してうまく答えられず失敗するが、授業回数を重ねるにつれ、やがて多人数の面前でも落ち着いて答えられるようになる。そして、これは、学生が将来実務家になった時に、多数の人々が傍聴する法廷で冷静かつ論理的に弁論することができるようにするための訓練なのである。このようにして、将来実務家となるために必要な考え方や素養を身につけたうえで、司法試験に合格するというのが本来のルートであった。

これに対して、経済的事情等から法科大学院に進学できない者のために、司法試験の受験資格を得るために実施されるのが予備試験である。そして、ついに今年は、予備試験の受験者数が、法科大学院の受験者数を上回ったとのことである。これは、由々しき問題であろう。なぜなら、これらの受験生は、法科大学院において将来実務家に必要な考え方や素養を全く身につけず、実務家になることを認めることになるからである。予備試験制度の早急な改善が望まれるところである。



## 法科大学院 無料法律相談開催

法科大学院

平成26年5月17日午後1時から4時まで、駒澤大学法科大学院、渋谷シビック法律事務所、日本司法支援センター東京事務所（法テラス東京）の共催、第一東京弁護士会の後援により、リーガルクリニック無料法律相談が開催されました。この法律相談は、毎年、春と秋の2回開催されており、今回は渋谷シビック法律事務所において開催されました。事務所の弁護士4人と第一東京弁護士会所属の弁護士2人の合計6人が相談を担当し、法科大学院の学生5人が相談に立ち会いました。相談件数は12件で、昨年に比べると相談件数は減少したものの、相続、離婚、不動産に関する問題など多様な相談がなされました。学生には、法律相談への立ち会いや、

相談終了後の担当弁護士との質疑応答などにより、日常的な業務である法律相談において、弁護士が、短い相談時間の中で、相談者の話の要点を把握し、的確に回答をしていく様子を学んでもらえたと思います。

（法科大学院特任教授 上杉 雅史）





亡くなったあの人もお盆には帰ってくる。全国各地で行われるお盆（孟蘭盆会）の行事を支えている人の思いは、今でも変わらない。

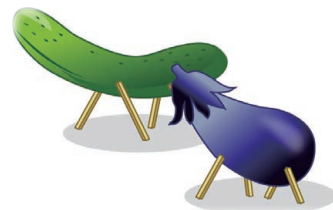
行事の由来する、中国で成立した『孟蘭盆経』は、釈尊（釈迦牟尼世尊）の弟子の目連が、亡くなって冥土にいる母親を救う話として構成される。目連は修行によって得た神通力により、亡くなった母親が餓鬼道にあって苦しんでいるのを見ると泣き叫び、母親を救うため釈尊の教えを請う。釈尊は、3ヵ月の集中的修行期間である夏安居を終えた7月15日、それまでの自らの行いを反省・懺悔した多くの僧に供養して、その威神力を受けることを教え、目連はそれにしたがって母親の苦しみを救う。

儒教の「孝」の考え方と、慈悲の念をもって自らが真剣に生きること、釈尊の教えを受け取ろうとする大乘仏教の実践に対する姿勢と、遺族が亡き人に自分の善業を振り向ける

（廻向）追善供養の行いの意義とを兼ね備えることで、孟蘭盆会は中国から日本にわたる多くの人々に、大切な仏教行事として浸透・定着することになる。

日本では、7月に行う東京等を除き多くの地方で8月13日から16日までの4日間を、亡くなった人が親しき家族の下に帰って共に過ごす期間として、さまざまな供養がおこなわれるが、これも日本古来の死後観の上に、孟蘭盆会が深く受容されたからに他ならない。

お盆に亡き人を迎え、また送るのは何故か。神通力を持っているのは目連ばかりではない。大切な亡き人の姿は、疑いようもなく自分の中に確かに生きている、と信ずる人々によって、切々と営まれるのがお盆である。



## KOMAZAWA NEWS

### 法学部が開設50周年！

法学部ができたのは、東京オリンピックが開催された1964（昭和39）年のことです。時を同じくして駒沢キャンパスには体育館が完成しましたが、現在の駒澤大学を象徴する1号館や本部棟はまだありませんでした。50年の歩みの中で、1972（昭和47）年には政治学科が増設され、2000（平成12）年には現在のフレックス制が導入されました。

6月16日（月）～27日（金）には、図書館で記念展示を開催。トマス・ホブズ著の政治哲学書で教科書の図版でもおなじみの『リヴァイアサン』の初版本などの貴重図書に加え、当時を物語る写真パネルも展示し、好評を博しました。

### 国文学科 高田知波教授がやまなし文学賞を受賞

文学部国文学科高田知波教授の著書『姓と性 ― 近代文学における名前とジェンダー』（2013年9月、翰林書房）が、第22回やまなし文学賞（研究・評論部門）を受賞しました。表彰式は、3月13日（木）に甲府市の山梨県立文学館で行われました。

やまなし文学賞は、1992年に樋口一葉生誕120年を記念する文学賞として制定され、小説部門と研究・評論部門の2部門があります。地域主宰の文学賞の中では、研究・評論部門を設置している唯一の文学賞で、日本文学を論じた既刊書（年度内）のうち、推薦を受けたものの中から毎年2点が選ばれます。

### 歴史学科と北京大学とでシンポジウム開催

5月21日（水）に中国・北京大学との国際学術交流シンポジウム「幕末期中・日・米国間の交流における先駆者－羅森研究－」を開催しました。講師には北京大学歴史系教授である王曉秋先生をお迎えし、本学文学部歴史学科の角道亮介講師の日本語通訳のもと講演を行いました。

本学と北京大学は2005年12月に学術交流協定を締結して以来、相互に研究会や講演会、さらにはシンポジウムを開催し、交流を深めてきました。この度開催したシンポジウムも、本協定に基づいて開催されたものです。参加者は計128人におよび、講演会終了後は懇親会も開催しました。

### 2020年東京五輪の成功に向け、大学連携協定締結！

6月23日（月）に、本学と一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、組織委）は大学連携協定を締結しました。これは、全国の大学と組織委がそれぞれの資源を活用し、オリンピック教育（五輪の歴史や意義を広める取り組み）などを推進することを目的としており、本学の他にも約550校が賛同。大学と組織委が連携するのは初の試みで、今後学生ボランティアの派遣や五輪

講座の開設など、様々な分野で連携していくこととなります。

本学も、東京大会の成功に向け積極的に協力体制を築いていきます。



大学連携協定締結式





# スペイン語研究会 Poco a poco



オラ ブエノス ディアス

Hola. Buenos días.(やあ、こんにちは)

**スペイン語研究会 (スペ研) ポコ・ア・ポコです！**

このサークルは毎週金曜日の4時限目に、顧問の齊藤明美先生の研究室  
(第一研究館 6階 1641)で行っています。

## \* 活動内容 \*

- ・年に2回行われるスペイン語検定の対策
- ・オープンキャンパス、オータムフェスティバルへの出し物
- ・スペインの文化に触れる (スペイン料理店に行ってみるなど)



## \* オータムフェスティバル \*

一昨年までスペ研は、毎年11月に行われるオータムフェスティバルに参加していませんでしたが、昨年初めて参加しました！

出し物として、約40分のスペイン語劇を行いました。劇のシナリオは、部員たちが1から作ったオリジナルストーリーで、スペイン語のセリフも部員たちが考えて作りました。たくさんの方々が劇を観に来てくださり、初参加だったオータムフェスティバルは大成功に終わりました！

**スペ研**に興味を持った方はお気軽にいらしてください！

ブログもやっているのでぜひご覧ください

スペイン語研究会 ポコアポコ

検索



「学生企画」とは誌面1ページを自由に使い、学生主体で記事を作成する連載企画です。



# サークル活動報告

## 書道部

私たち書道部は、毎年愛媛県佐田岬の小学生に書道を教えに行っています。昔、書道部の学生が帰路のフェリーに乗り遅れ困っていたところを、地元の方が近くの港まで自分の船で送り届けてくださったそうです。その感謝の気持ちを伝えるために始めたのが、この「佐田岬研修」でした。それから50年という月日が流れた今も、この研修は書道部になくはならない大切な行事として毎年行われています。

昨年は、半世紀続いた交流を記念して町の教育委員会の方から賞状をいただきました。私たちはそれを誇りに思い、この交流が100年先まで続くよう、今年の研修に向け準備を進めています。

(文学部国文学科3年 永井 優紀)



## 一般スキー部

私たち体育会一般スキー部は、毎年3月に行われる全国岩岳スキー大会に向け、陸上トレーニングや他大学との合同トレーニングに励んでいます。昨シーズンは女子大回転、アルペンの部女子新人戦において2位、女子スーパー大回転、基礎の部女子新人戦にて3位と素晴らしい結果を残すことができました。また、結果を残せなかった部員も、心身共に大きく成長できたシーズンだったと思います。

今シーズンは個人の結果だけでなく、男女共にクラブ総合入賞を目標に日々精進していきたいと思いますので、OBや部長の先生をはじめとする関係者の皆さま、今後とも応援よろしく願いいたします。

(経営学部経営学科2年 馬場 佑汰)



## 剣道部

5月17日に東京武道館にて、第46回関東女子学生剣道選手権大会が行われました。その大会において私が準優勝、和栗宏恵(英米文学科2年)がベスト8という成績を収め、7月5日に行われる全日本女子学生剣道選手権大会への出場権を得ました。

日頃、先生、先輩方からご指導いただき、また部員同士が切磋琢磨した結果だと思います。準優勝という結果を出せたことが嬉しい反面、決勝の舞台では強豪選手に破れ、力の差を感じ、更なる精進をしたいと思います。

全日本では出場が叶わなかった選手の分まで全力を尽くし、上位進出を目指して頑張ります。

(文学部英米文学科4年 矢上 悠香)



## サークルの活動予定

声援歓迎

### 体育会

#### ●居合道部

- 第21回東京都女子居合道大会／7月12日(土)／東京武道館第2武道場

#### ●空手道部

- 第69回国民体育大会／10月13日(月)～10月15日(水)／長崎県佐世保市体育文化館

#### ●剣道部

- 第63回関東学生優勝大会／9月14日(日)／日本武道館

#### ●硬式テニス部

- 第38回全日本都市対抗テニス大会／7月24日(木)～7月27日(日)／和歌山県立つつじヶ丘テニスコート

#### ●ゴルフ部

- 第68回日本学生ゴルフ選手権／8月26日(火)～8月29日(金)／スプリングフィールドゴルフクラブ

#### ●自動車部

- 2014年度全日本学生ジムカーナ／8月23日(土)・24日(日)／鈴鹿サーキット国際南コース

#### ●自転車部

- 全日本学生RCS第4戦大町美麻ロード／7月13日(日)／長野県大町市美麻地区特設コース

#### ●射撃部

- 平成26年度関東学生ライフル射撃選手権秋季大会予選／8月21日(木)～8月24日(日)／埼玉県朝霧オリンピック射撃場

#### ●柔道部

- 平成26年度東京学生柔道体重別選手権大会／8月24日(日)／日本武道館

#### ●男子バスケットボール部

- 第90回関東大学バスケットボール秋季リーグ戦／9月6日(土)～11月2日(日)／国立代々木競技場第二体育館他

#### ●体操競技部

- 第68回全日本学生体操競技選手権大会／8月20日(水)～8月22日(金)／山口県維新100周年記念公園

#### ●卓球部

- 2014年度秋季関東学生卓球リーグ戦／9月3日(水)～9月11日(木)／駒沢公園体育館、代々木第二体育館

#### ●男子バレーボール部

- 2014年度関東大学秋季バレーボールリーグ戦／9月1日(月)～10月31日(金)／日本体育大学他

#### ●ボクシング部

- 第69回国民体育大会／10月13日(月)～10月17日(金)／長崎県雲仙市吾妻体育館

#### ●硬式野球部

- 平成26年度東都大学野球秋季リーグ戦／9月3日(水)～10月22日(水)／神宮球場

#### ●ヨット部

- 関東学生秋季ヨット選手権大会予選／9月27日(土)～9月29日(月)／神奈川県森戸海岸

#### ●陸上競技部

- 第26回出雲全日本大学選抜駅伝競走／10月13日(月)／島根県出雲市

#### ●チアリーディング部 BLUE JAYS

- JAPAN CUP 2014チアリーディング日本選手権／8月22日(金)～8月24日(日)／国立代々木競技場第一体育館

### 文化部

#### ●囲碁部

- 学生囲碁王座戦関東予選／9月21日(日)／日本棋院3F

大会の詳細はホームページでご確認ください。  
皆さんの応援をお願いします!



## 利用しよう！学生相談室

学生相談室では、学業や能力・進路・将来・友人や家族・恋愛・性格・心の悩みなど、皆さんが学生生活を送るうえで抱く**困ったこと、わからないこと、心配なこと、不安に感じていること**などの相談に応じています。

また、よろず相談窓口でもありますので、「どこに相談したらいいのかわからない」ということがあったら、ひとまず訪ねてみてください。

**相談上の秘密やプライバシーは固く守られます。**



### ★相談するときは・・・

初回の相談は随時受け付けています。

場所：禅研究館2階

### ★充実した有意義な日々を過ごすことができるよう相談室スタッフがサポートします。

インテーカー・カウンセラー（臨床心理士）

アドバイザー（各学部選出の教員）

法律相談員（弁護士 月1回）

### ★ホームページでは、学生相談室の利用案内だけでなく悪質商法等についての記事も掲載しています。

**TOP** → **学生生活** → **学生相談室**

### 学生相談室 開室時間

月曜～金曜9:00～18:00・土曜9:00～12:00

※開室日・時間は変更することがあります。

学生相談室掲示板・KONECO・大学HPで確認してください

☎03-3418-9067・✉gakuso@komazawa-u.ac.jp

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakuso/>



## オープンキャンパス2014



今年も恒例のオープンキャンパスが開催されます。高校生や受験生、ご家族などに広く駒澤大学を見ていただくという行事です。開催日は、7月20日(日)・21日(月・祝)、8月2日(土)・3日(日)、9月14日(日)。当日は、大学の概要、入試の説明、学部・学科の紹介や模擬授業、個別相談に学内見学と多彩な催しが満載です。

今日の駒大生と明日の駒大生が出会うオープンキャンパス。駒大生の諸君は、是非運営に参加してください。(入学センター)

### 「全学部統一日程入試」に新しい奨学金誕生！

平成27年度入学試験より、「全学部統一日程入試」で、上位100人以内で合格、入学した学生に年間30万円を支給する新しい奨学金制度「全学部統一日程入試奨学金」を創設します。この入試に出席した全員が対象となります。

駒澤大学では、入学試験に新しい制度を導入することで、受験生に、より学びやすい環境を提供していきます。このような取り組みを、お近くの受験生にお知らせいただければ幸いです。

## 平成26年度秋季公開講座のお知らせ

### 講座Ⅰ 『法華経』 その多様な世界

開講時間 13:00～14:40

会場 深沢キャンパス120周年アカデミーホール

第1回	山口弘江講師	10月4日(土)	『法華経』を知る(一) 前半十四品を中心として
第2回	池田練太郎教授	10月11日(土)	一乗と三乗
第3回	金沢 篤教授	10月18日(土)	智慧と慈悲
第4回	山口弘江講師	10月25日(土)	『法華経』を知る(二) 後半十四品を中心として
第5回	松本史朗教授	11月1日(土)	久遠実成の仏
第6回	吉村 誠教授	11月15日(土)	菩薩とは誰か
第7回	曹洞宗総合研究センター 清野宏道研究員	11月22日(土)	『法華経』と道元禪師
第8回	池田魯参総長	11月29日(土)	『法華経』と曹洞宗

### 講座Ⅱ 憲法を考える

開講時間 15:10～16:50

会場 深沢キャンパス120周年アカデミーホール

第1回	西 修名誉教授	10月4日(土)	世界の中の日本国憲法
第2回	西 修名誉教授	10月11日(土)	日本国憲法の成立過程
第3回	西 修名誉教授	10月18日(土)	憲法と安全保障 集団的自衛権の可能性
第4回	大西楠・テア講師	10月25日(土)	政教分離 首相の靖国参拝
第5回	大西楠・テア講師	11月1日(土)	参政権 一票の格差と議員定数不均衡訴訟
第6回	奥村公輔准教授	11月15日(土)	議院内閣制 首相公選制導入の可否
第7回	奥村公輔准教授	11月22日(土)	政府の憲法解釈 解釈改憲の是非
第8回	西 修名誉教授	11月29日(土)	憲法改正考 憲法の未来

### 健康づくり教室 ジョギングコース・成人体操コース・ジュニア体操コース・武道(空手道)コース

第Ⅱ期 平成26年9月21日(日)～11月23日(日) 第Ⅲ期 平成27年1月11日(日)～3月15日(日)

※秋季公開講座パンフレット配布時期…8月下旬予定 ※秋季公開講座申込み締切日…講座Ⅰ・Ⅱ 9/10(水)、健康づくり教室 9/3(水)  
(申込み等) 深沢校舎事務室 公開講座係 TEL.03-3702-9625 (定員になり次第締切となります。)



## ●前期科目定期試験日程及び後期履修登録・訂正について

関連行事日程 〈教務部第1掲示板及びKONECO掲示で詳細を確認ください〉

1) 前期科目集中試験	7月16日(水)～18日(金)
2) 前期科目定期試験	7月22日(火)～28日(月) ※日曜は除く
3) 追試験受験願提出締切	7月30日(水)17時まで 教務部⑩番窓口
4) 前期科目追試験	8月18日(月)～23日(土)
5) 前期科目成績発表	8月22日(金) KONECOで発表
6) 成績調査願受付	8月22日(金)～28日(木)正午まで ※土・日は除く
7) 前期科目追試験成績発表	8月27日(水) KONECOで発表
8) 後期科目履修登録・訂正期間	9月13日(土)～19日(金) KONECOで登録

※ 試験時間は、通常の授業時間と異なります。履修要項等で要確認。

※ 試験のときは学生証を忘れずに!!

### 1. 前期科目集中試験

特定の専門科目（履修者が多数など）が対象となります。  
通常授業とは曜日・時限・教場が異なります。

### 2. 前期科目定期試験

試験は、授業と同じ曜日・時限で実施します。ただし、試験教場は授業教場とは異なりますので、指定された教場で受験してください。玉川キャンパス受講科目の試験も駒沢キャンパスで実施します。

### 3. 「追試験受験願」の提出

前期科目の定期試験をやむを得ない理由で受験できなかった場合、「追試験受験願」（証明書を添付）提出の上、追試験を受験できます。

### 4. 前期科目追試験

- 「追試験受験願」提出者のみが受験できます。試験は授業と同曜日・時限で行われ、教場は別途掲示されます。
- 定期試験を実施しない科目は、追試験を実施しません。

平常の授業内に、担当教員が試験を実施する場合があります。担当教員より教務部へ依頼があった場合のみ、教務部第4掲示板及びKONECOに案内を掲示します。やむを得ず欠席をする場合は、担当教員に直接相談してください。

### 5. 後期履修登録・訂正期間

この期間は、年間履修制限単位数の残り単位数の範囲内で、後期開講科目を追加履修及び取り消しをすることができます。なお、作業はKONECOで行い、登録は定員の空き状況に応じて先着順となります。

## ●夏季休業中の窓口事務の取り扱い

7月29日(火)～9月15日(月)

	日	月	火	水	木	金	土
7月			29	30	31	1	2
8月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
9月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13

### 1. 事務取扱日ー上記カレンダー参照ー

- (1) ☐ 印 事務取扱日 (2) ☐ 印 全学休業日

### 2. 事務取扱について

- 教務部・学生部・キャリアセンター・国際センター事務室  
9時～17時（12時30分～13時30分休止）
  - 図書館 9時～17時 詳細は、図書館ホームページを参照。
  - 財務部 9時～16時30分（12時30分～13時30分休止）
  - 総合情報センター〔サポート窓口〕 9時～17時  
〔自習室〕 10時10分～16時50分  
詳細は、総合情報センターホームページを参照。
  - 保健管理センター 9時～17時（12時30分～13時30分休止）
  - 学生相談室  
取扱日、時間については学生相談室掲示板・KONECO・大学ホームページを参照。
  - 夜間事務センター 16時～21時
- ### 3. 証明書等の発行および受付について
- 証明書自動発行機の稼働時間は、事務取扱日の9時～19時30分  
なお、☐印の8月6日(水)は9時～16時。
  - 電話・郵便による各種証明書の申請はできません。夏季休業前に多めに証明書を用意してください。
  - 後期休学を希望する者は、8月22日(金)以降、教務部⑩番窓口にて休学願を受け取ってください。（締切9月11日(木) 期日厳守）
  - 大学院生の証明書は、事務取扱日に教務部⑤番窓口で16時30分までに申し込んでください。

## 通学路マナー



### 駒沢キャンパス通学路（駒沢大学駅～駒沢キャンパス）

駒沢大学駅から駒沢キャンパスへの通学路は、上記地図上に記した矢印および下記表のとおり、定められています。  
**住宅街の路地や私道の通行はできません。** 地域、近隣の方々の迷惑にならないよう、決められた通学路を通行するようご協力をお願いします。

通学路	時間帯	ルート
登校時	8時～14時	駅公園口 → 246会館左折 → 大学専用道路 → 北門
	8時以前・14時以降	駅公園口 → 駒沢交差点左折 → 正門
下校時	14時以前・19時以降	正門 → 駒沢交差点右折 → 駅公園口
	14時～19時	北門 → 大学専用道路 → 246会館右折 → 駅公園口

※ 授業時限前の混雑時や雨天時は、駅西口から国道246号北側歩道（法科大学院棟側）もご利用ください。

### ● 学内売店の営業時間について

夏季休業期間における学内売店の営業時間は、大学ホームページに詳しく掲載します。

駒沢大学  
ホームページ

パソコン・スマートフォン版  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/>  
フィーチャーフォン版  
<http://m-serv.jp/komazawa/>



## 『感謝の心をもって、美味しいお菓子を作り続けたい。』



1978年神奈川県生まれ。2001年仏教学部仏教学科卒業。横浜のフレンチレストランでパティシエを務めた後「ル パティシエタカギ」(世田谷区深沢)に8年勤務し、スーシェフ(副料理長)として活躍。2012年3月15日に自身がオーナーの店をオープン。新鮮な材料と味にこだわるお菓子づくりで人気店となる。

若きオーナーシェフとして活躍中の山室さんに、パティシエを目指した経緯や信念を伺いました。

\* \* \* \* \*

### --- 仏教学部ご出身なんですね。

私はお寺の三男坊で附属高校から駒大に進学したのですが、別の道への興味もありました。3年生になり周囲が将来を考え始める中、自分にはやりたいことも目標もなく、かといって企業で働く姿もまったく想像できなくて。そんなときテレビでパティシエを見たのがきっかけです。当初は軽い気持ちでしたが、専門学校で学ぶと決めてからは覚悟が固まりました。4年生からは昼は大学、夜は製菓専門学校で学びました。

周囲からは驚かれましたよ。でも私は、一度決めたら勢いでつき進んでしまふんです。なぜこの道を選んだのか長いこと自分でも迷ったのですが、私の結婚式の日に、叔母が「実はあなたの曾祖父は和菓子職人だった」と明かしてくれたんです。なるべくしてなったのだと、スッキリしました。

### --- 修業時代に得たことは何ですか？

専門学校卒業後は横浜のレストランで2年働き、その後「ル パティシエタカギ」に移りました。採用条件は職場から近い場所に住むこと。それだけ

仕事が厳しいわけですが、この業界では「若いうちは有名店より忙しい店に行け」とよく言われます。今思うと、考えたり悩んだりする余裕もなく同じ作業をくり返し、手や身体にたたきこむ環境がよかったですね。実際、指導の厳しさより、仕事量がすさまじいんです。100個単位で作りますし、ピーク時は2時間睡眠が続きます。でもそれが普通だと思っていましたし、レベルの高い先輩方に囲まれ、良い刺激を貰うことができました。

修業時代に学んだのは、技術より精神面が大切だということ。お菓子は材料の配合がグラム単位で決まっています。誰でもある程度の技術が身につきます。ですが、同じ配合で同じ形のマドレーヌができて、作る人によって味がまったく違う。いい加減に作ると、味にも表れるんです。

### --- 独立した経緯を聞かせてください。

パティシエは長時間で重労働、しかも若いうちは驚くほど給料が低いから離職率が高い。また、オーナーや大手のシェフを目指す人は約4年のサイクルで店を渡り歩くので、入れ替わりが激しい職場です。私の場合、人や環境に恵まれたこともあり、タカギで8年お世話になりました。

最後の3年はスーシェフを任されましたが、30歳で結婚したのを機に将来について考えました。そこで高木シェフに「店をもってはどうか」と勧められたのが大きいですね。オーナーとなるとケーキのアイデア出しも自力だし、経営や資金繰りのプレッシャーも背負います。でもそのときも決断した後は勢いで動きましたね。腕は認められていたので自信はありました。幸い、物件探しなどで多くの人が協力してくれて。特に家族、妻の協力があってこそですね。

私が目指すのは、老若男女みんなに親しまれ、喜んでもらえるお店です。個人店では難しい卵抜きケーキを開発したのもその一つです。子どもにとって誕生日は特別な日だから、アレ

ギーのある子にも喜んでほしくて。ケーキにチョコペンでイラストを描いたりもしますが、代金はいただいています。お客さまへの感謝のつもりです。



### --- 学生にメッセージをお願いします。

店を構え、お菓子を提供し、多くの人に喜んでいただく。かつては想像もつかなかったことです。学生時代は気づかなかったけれど、仏教的に言えば、自分は本当に多くの人に「生かされている」と、社会に出て初めて実感できました。

常に感謝の心をもてば、おのずと謙虚になれます。謙虚に人の声に耳を傾けると多くを吸収できるようになり、技術だけでなく精神も成長できます。さらに、吸収力は自分で考える思考力となり、高い目的意識が生まれます。目的から情熱が生まれ、良い縁を引き寄せ、行動力へとつながっていくのです。これはパティシエに限らず、どの仕事も同じかもしれませんね。

\* \* \* \* \*

**Patisserie Yamamuro**



◆●パティスリー ヤマムロ●◆  
 東京都新宿区信濃町10宮下ビル1F  
 JR総武線「信濃町駅」より徒歩4分  
 営業時間: 10:00 ~ 19:00 (水曜定休)  
 公式HP: <http://r.goope.jp/yamamuro>